

平成三十年 党大会に結集しよう

平成30年9月号(257号)
(皇紀2678年) 毎月1日発行

新風

編集人 瀬戸 開

発行人 魚谷 哲央
年間購読料 2,000円

維新政党・新風本部
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下ル
第2ふじビル4階
TEL.075-708-3700 FAX.075-708-3800
http://shimpu.jp.org/
otayori@shimpu.jp.org

昨年は中止した党大会が、本年は十一月十七日東京にて開催される。昨年は各地の組織状況を勘案して各地方本部・準備会毎の懇談会を党大会に代替したのであつたが、この一年間、組織再生の動きは緩慢ながらも少しずつ前進してゐると言へようか。

結党二十三年目の本年は、来年の参議院選挙へむけての意志統一の年であり、その結果としての十一月の党大会で

維新政党・新風 平成三十年党大会

平成三十年十一月十七日(土)

於・代々木会議室(日本文化興隆財団内)

東京都渋谷区千駄ヶ谷四一五一〇
〇三―五七五―一四四五
JR総武中央線 都営地下鉄大江戸線代々木駅西口より徒歩八分
東京メトロ副都心線「北参道」駅三番出口より徒歩一分

第一部 全国代議員総会(正午開会)

議決権は代議員のみ
党員党友後援会員も傍聴参加できます

第二部 新風躍進の集ひ(午後二時三十分)

党外者を含めてどなたでも参加できます

第三部 懇親会(午後五時)

党外者を含めてどなたでも参加できます

※第一・二部参加費二千円、第三部まで参加の場合は一万円
※出席申込ハガキは新風十月号に同封

ある。結党以来、平成十年・十三年・十六年・十九年と確認団体として参議院選挙に挑戦し続けて(比例代表二名・選挙区八名の計十名を毎回擁立)五度目の平成二十二年、選挙公示二ヶ月前に突然資金計画

一見俗耳に入りやすい意見であるが、わが党は戦後体制打破といふ言はば反体制の政治勢力であり、現在の選挙戦でさう簡単に当選するなどと考へてはならないのである。戦後体制打破を堂々と毅然と掲げつつ、当面は政治勢力としての存在感を高めてつづ政治潮流の一角に確固たる橋頭堡を構築することが選挙戦略なのである。

御代替り初の 国政選挙の重要性

来年四月末で今上天皇陛下は御譲位なされ、五月から現皇太子殿下が新天皇に即位なされ、御代替りが行はれる。今後の皇位継承においても容易ならざる事態も想定され、皇統護持の方策も問はれることとなる。

国際情勢は、北朝鮮・中共をめぐる東アジア情勢及び、欧州・中東・露国と米国の不透明かつ不安定な情勢がわが国に様々な影響を及ぼしてゐる。誤魔化しの改憲論で戦後体制を固定化し、グローバルリズムに捫め捕られた安倍自民政権は主権国家たり得ず、今後翻弄され続けることであらう。

内政においては、人口減少社会の中で、労働力をめぐる外国人労働者や移民問題も喫緊の政治課題であり、地方共同体社会の衰退傾向の中で経済格差や社会保障問題等、様々な社会問題への対応が求められてをり、総合的な国家構想が伝統に則して議論されなければならぬ時機である。

来年の参議院選挙は、その様な難局の中で御代替り初の国政選挙であり、わが党は再び戦後体制打破の選択肢を国民に強く提示し直し、政治勢力としての認知度向上によつて組織再生を成し遂げなければならぬ。来る党大会において全党の意志統一を図らうではないか。

新風驟雨

しんぶうしゅう
▼「三支の西羽を広げて飛んでゆく新たな年の戌を迎える」。某市広報今年二月の短歌欄の入選歌ですが、「西」は干支ではありません。十二支の一つです。「干支の酉」といふ國語はないのです。近年十二支を干支とする報道が年末年始にNHK、大手新聞を始め各種マスコミ等で為されます。また、還暦を「六十歳」との報道も同様で、多くの国民もさう思つてゐるやうに見受けられます。▼干支とは「十干」と「十二支」の組み合わせで、六十通りありますが、還暦は数へて六十一です。十二支は「子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥」です。十干は「木火土金水」の五行をそれぞれ「兄、弟」に分け、「木の兄」「木の弟」の如くし、これを一字で「木の兄」は「甲」、「木の弟」は「乙」のやうに表します。順に並べると「甲乙丙丁戊己庚辛壬癸」の十通りです。▼十干の「干」と十二支の「支」で「干支」です。「えと」若しくは「カンシ」と読みます。十干十二支それぞれに訓音両読みがあります。「甲子園」は「きのえね・カウシ」の年、大正十三年の建設です。▼干支は年月日の順序を表すのにも用ゐます。昭和三十三年生の方々が今年の還暦で、干支は戌戌(つちのえいぬ・ボジユツ)です。暦が生年と同じ年の暦に還るので還暦といひます。昭和三十三年が「戊戌」に還つてきたのです。▼戦後国民の年齢管理が満年齢・辺倒になり、六十干支と満六十歳を混同したのが誤りの始めでせう。(瀬)

本紙目次

- 一頁： 平成三十年党大会に結集しよう
- 二頁： 他